



「長崎っ子の心を見つめる教育週間」

『命の大切さ』を考える公開道徳授業です！



題材「三日間、命の輝き」

生徒たちは、「命の輝き」を真剣に考えていました。ご家庭でも話題にしてほしいと思います。

学年育友会も皆さんメモを取り、熱心に話を聞かれていました。ありがとうございました。



題材「母を看取る」

生徒たちは、「命の尊さ」について意見を発表しました。保護者の中には涙を浮かべている方もいらっしゃいました。育友会は暑い体育館の中で夏休みの生活や修学旅行について確認がありました。



題材「奇跡のシュート」

生徒たちは、バスケットボールを題材にした内容で意見交換を行いながら「生きること」を考え、先生が語る「命」について耳を傾けていました。

本日は、授業参観に続き、育友会にも参加していただきありがとうございました。



本校では、今後とも「命の大切さ」を基本として教育実践に取り組みます。

100人パトロールが行われました。

(ホームページ 7/2 火「学校行事」や

7/4 木「学校だより第7号」と同じ内容です。)



7月1日(月)朝から校長講話として『命の大切さ』をテーマとして、①童謡「シャボン玉」作詞者野口雨情氏と②昭和24年 時津打坂での長崎バスの車掌さんを取り上げました。

午後7時からは、西浦上小学校区子どもを守るネットワーク、西浦上小学校育友会、西浦上中学校育友会が合同で100人パトロールを実施しました。地域の皆様、育友会の皆様、先生方、小雨が降る中ありがとうございました。